滿洲日報

油豆行情（中歷十二月十二日）

青豆價錢六吊三百七十文至六吊二百文
合豆價錢五吊六百文至五吊四百五十文
小米價錢七吊六百文至七吊二百七十文
紅糧價錢五吊五百文至四百五十文

仝	仝	同十一圓
仝	九舛入	同五圓
仝	仝	同四圓
赤味噌	大樽	同九圓三十錢
札幌麥酒	四打入	同九圓八十錢
蜂印香竄葡萄酒	仝	同二十二圓五十錢
[illegible]卷	八打	同十三圓五十錢
仝蒲燒	仝	同二十三圓
筍	二打半	同八圓五十錢
梨	四打	同十一圓
桃	仝	同九圓五十錢
人形ミルク	仝	同十二圓五十錢
[illegible]	五十[illegible]入	同十[illegible]
花	八十八斤	同二十四圓
栗 お鰕	小四百五十本入	同十圓
仝	六千二百本入	同十六圓
澤龜		十七圓
サッポロビール	正味四斗四升入	九圓七十錢

（宅合名會社調査）

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
$4.80 per 6 months.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料
一年ヶ月以上 [illegible]
一ヶ月以內 錢十五仙乃至十仙
一長期連揭減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

横濱正金銀行牛莊支店

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所

大連市讃岐町三百三十八號 日華運輸公司
遼陽 遼陽倶樂部 谷口今朝太郎

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.

Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

醬油釀造販賣

●樽詰 ●瓶詰 ●桝賣

御小賣共精々廉價に販賣仕候御進物として至極体裁宜しき特製四合入瓶詰一打箱入も有之候間多少に拘はらず御用被仰付度奉希上候尚御用の節は下名の内何れにても電話にて御申付被下候は丶直に御届け可申上候

綏定門街 東肥洋行（電話一七號）
二官街 東來醬園（電話百二號）

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社[illegible]

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印井一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣線絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋陵鉸表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

總司理人 田中賴之助謹白

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事潘玉田 副理事金德魁
設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南瞥乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北瞥乙第十三號

恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價值格外從廉克己幷另設銀爐包營鎔鑄以應急需久爲 中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛

油坊買賣元荳油荳餅雜色糧石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙船輪船交易南北客商歷有年矣爲此謹白

開設營口西街老爺閣前路北瞥乙第四十九號

德商 **瑞生洋行**

啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議

營口西街潮溝西本行主人啓

代代木烟公司

本行專售日本官造紙烟星象牌（斯達）櫻花牌（捷利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸營欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞

本主人啓

森病院

一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄姙婦の入院を諾す（取扱主任産婆大道しけ子）

院主 森 嬌
醫長 鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

●新荷着

有名なる（ゼルマチン）ストーブストーブ界ノ大王
シャツ、ズボン下、毛皮、帽子、毛皮帽子、防寒服、手袋
防寒用 冬季用窓掛類品々
右は皆歐洲より輸入ノ最良品廉價にて販賣致すべきに付き御縦覽を乞ふ

加藤洋行隣 ウヰンクラー商會

新到洋貨告白

啓者本行專運歐美各國進口世界有名之日耳曼爐、禦寒必全之洋汗衫、洋褲、手套、帽子、毛皮帽子、皮衣、毛布、冬日所用窓簾各貨、無不齊 價值格外從廉如需中外貴官商賜顧者請移玉至元神廟 加藤洋行西側本行賬房面談 批發

榮富洋行

今在天津車站拾得皮包壹個內有洋錢頗沉重如有失主即到營口大德通票號說對其內數目即予領取不悞

喬仲吉謹白

一關內外盧漢鉄道貨物運輸（但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候）
一海關手續（但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱）
一鈔關手續（但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱）
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號
大淸通運公司營口支店

隆慶公司

開設在東關門外自有碼頭恬豊木局以西南近馬路德記木局以北發售唐山大小塊炸子貨美價廉裝卸舟車極便凡賜顧者請認明招牌庶不致誤謹啓

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

各種材木
廉價大販賣

壚川商會
營口永世街二一本町

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、襪子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡 中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、

大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東洋緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸

田中牛莊分莊謹啓

材木 荒物 販賣

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

日商 **東來醬園**

本醬園開創在營口双橋子南有年係請大日本著名工師自造日本醬油所造醬物料專選上等麥豆壘經沙漏之水寒熱適度加意製出故其色麗質淨味美氣芳可以供上等烹飪之用其價值甚廉非尋常市油所得而及盖用市造之油烹物之費多而鹽梅之効少若用此油則醬味調和必諸不特于衛生之道受益不少兼爲厚生利用之妙品也賜顧紳商請嘗試之立知本醬園所言非夸張之談矣

本園主人謹白

代理 道勝銀行

啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也

德商 瑞記洋行代理人謹啓

貸金業

確實なる擔保品には精々勉强安利を以て御相談に應す

南永世街百二十七號
質屋 富田茂治

東京電報

(一月六日特別通信員發)

●**九條公爵の薨去** 九條道孝老公には今朝薨去せられたり葬儀は帝室費を以て十日執行せらるゝ筈

●**福地氏の逝去** 明治年代の才物たりし福地源一郎翁は昨夜逝去せられたり

●**清國學生の復校** 同盟退學せる清國學生は總代を擧けて協議の上十一日より復校就學することに決せり

倫敦電報

●**英國の總選擧競爭** 英國衆議院議員の總選擧は競爭今や酣にして各新聞紙は選擧演說を以て紙面を充たせり選擧演說に於て特に著しき點は問題の種類多きに在り然れとも統一黨は概して愛蘭土自治案及ひ財政問題を以て正面より攻擊し自由黨は自由貿易及ひ內治改善の兩問題に據て敵と相挑む (一月三日發)

●**モロッコ問題と半官的宣言** 伯林に於て半官的に宣言されし所に依れば獨國がモロッコに對して野心ありとの佛國の憂虞は全然根據なきものなりと

●**露提督と日本海々戰** ロツゼストウエンスキー提督は海軍省の許可を得て對島沖の海戰に關する一論文をノーボイウレミヤ新聞に寄せたり其一節に曰く當時東郷司令長官の所在は全く秘密にして萬一日本海軍が英國の目的たる露國海軍全滅の功を奏すること能はさる場合には直ちに代て之れを實行せむが爲めに艦隊を威海衛に集中し居りたる英國の司令官さへも其所在を知らさる程なりしと (以上一月四日發)

●**モロッコ會議と憂虞の再發** モロッコ會議の開かるゝに當りて憂虞の念再發せりヤスペーン兩國新聞紙は最も悲觀的なり特にスペーン國の新聞紙は獨乙國に對して著しく敵意を含めり伯林の新聞紙も猶且つ自國政府の宣言を疑へ不安の念を抱けり是れ獨乙政府が軍事的準備を爲すとの風說あるに由る

●**東北饑饉と米國厚意** ニユーサウスウエールス政府の首相は日本の饑饉地方救濟の爲めに麥粉を輸送するとに共同盡力すべきを約言せり (以上一月四日發電)

●**米國政府とモロッコ會議** 米國政府は海賊を一掃し率先してバーバリー諸州と通商條約を締結せし理由に依りモロッコ會議に於ては他の歐洲各國に先んじ刻下の難問題を解決すへき優越權を有する旨を半官的に華盛頓に於て發表せり

●**濠航路營業協商の成立** ゼローヤル、メール汽船會社は此度ゼ、オリエント汽船會社と共同して濠州航路を營業すべき協商整へ今後はゼ、オリエントローヤルサービス會社と改稱すべし (以上一月五日發)

雜報

●**衆議院の頌德表** 過日衆議院に於て議決したる頌德表左の如し

衆議院議長臣松田正久誠恐惶謹で言す伏して惟るに

陛下天縱聰明宸極に臨御し 徽猷を恢弘し內は文を修め武を尙ひ乾綱維れ張り庶政維れ擧り外は列國と輯睦を敦うし訂盟を英國に重ね保護を韓國に加ふ中興の業裁成の功之を古今に徵し與に推校する所なし不幸客歲露國と釁を開くや 大號煥發乃ち六師を興し貔貅艨艟威を遠近に震ひ神籌授くる所海に陸に大捷の功を奏せさるは莫し而して友邦の忠言を呈するや 聖衷恢廓進て之を容れ以て平和の約を結ばしめ旅を振へ師を班へす是れ寔に曠古の大業にして聖德中外に光被し臣等生て聖世に遭遇し斯盛事を瞻仰し 宏謨を翼贊す何の慶幸か之に若かむ爰に恭く上表し肅みて徽忱を敷く臣松田正久誠恐誠惶謹て言す

●**日淸協約と伊藤侯** 伊藤侯の日淸協約談に曰く北京に於ける日淸協約は大體に於て我か要求の主要部を貫徹せり其枝葉に至りては或は議論もあらんか大體に於て已に我れの權利を獲得したりとせは其枝葉は論するに足らす本條約二個條、附則協約十二箇條中先つ本條約に於て日露平和條約の骨子たる東洋平和の要素とも云ふへき露國の滿洲租借權及ひ鐵道の收得等悉く我れの要求を承諾し附則協約十二箇條に於て撤兵の件、滿洲各市解放の件等多く我れの要求を承諾せしめたるは寧ろ小村氏功と云ふへきなり日淸協約の如きは單に兩國の主張のみを敢わすへからす世界の輿望如何を顧みる事亦必要の條件たらん然るに其最大主要の點を承諾せしめたるは余の同情する所なりと云々

●**內閣組織の困難** 新內閣組織の內容は西園寺侯の秘密に屬するも其組織の困難なるは推知するに難からす最初侯は桂首相より內閣引繼の內談を受けたる際憲政本黨員は一切入閣せしめさること、政友會員としては入閣せしめさることと及ひ陸海軍を擴張すへきことの三條件を約束したり爾來侯は右の條件により組織に取掛りたるに豫て噂ありたる加藤高明氏は犬養毅、大石正巳の二氏にして入閣せは兎も角然らされは應し難しと斷り都筑馨六氏は外遊の志ありて寧ろ大使を希望するものゝ如く政友會の松田正久、原敬兩氏に至りては政友會を脫してまて入閣するは寧ろ躊躇せさるを得す右の條件は後繼內閣組織に對して頗る困難を與へつゝあり西園寺侯か嚴に秘して其消息を外間に漏さゝらんとする苦心頗る同情に堪へさるものありといふ

●**新政黨組織の議** 近時各議員團體に於ては漸く少數分立の非を悟りたるものか曩に大同倶樂部の組織あり今又無所屬中の硬派たる同攻會の多數發起と爲り他の無所屬中の硬派と抱合し一方に憲政本黨を解散せしめて之と相合し更に一大新政黨を組織せんとの議あり憲政本黨にても大體異議なく只其時期に就て考慮する所ある模樣なるか一方無所屬派との合同は案外好都合に運ひつゝある由にて目下頻りに交涉中なれは近日之か發表を見るに至るへしと

●**後繼內閣成立期** 後繼內閣成立期に就きて說を爲す者は曰く後繼內閣の人選は已に西園寺侯の手に歸し今は唯小村大使の歸京復命を待ちつゝあるのみにて小村大使も愈〻一月一日を以て歸京の由なれは三日日淸談判の經過を伏奏し現閣臣等の所謂戰爭の後始末なるものを完了し同七日を以て新內閣の發表を見るへしと然れとも內閣組織の困難は別項の如くなれは其成立期は尙五六日を要するならんといふ

●**滿洲の開放地** 日淸協約により開放せらるへき滿洲の重要都市は總へて十七個所とも傳へ或は十六個所とも傳へ未た確報に接せすと雖も今聞く所に依れは新に開放せらるへきは左の十五個所にして

鳳凰城	遼陽	新民屯
鐵嶺	通江子	法庫門
吉林	長春	哈爾賓
寧古塔	琿春	齊々哈爾
海拉爾	愛琿	滿洲里

此內遼陽鐵嶺及ひ既に開放せられたる奉天の三個所には日本專管居留地を設くる約ありといふ

●**衆議院派別議員數** 今期議會に於ける各派の代議士數左の如し

政友會百四十一、進步黨九十五、大同倶樂部八十九、同好會二十六、其の他無所屬

●**林公使の轉任說** 韓國駐劄特命全權公使林權助氏は近日賜假歸朝の由なるが同公使は更に大使館參事官に轉任するならんと傳ふるものあり

●**韓聘大使決定** 豫て行惱中なりし韓國報聘大使は愈〻完順君李載完に決し統監着任前に發程すへしといふ

●**小村大使の復任** 或る向に達したる報道に依れは遣淸大使小村男は二日を以て東京に歸着し桂總理大臣は兼任外務大臣を解かれ同時に小村男は外務大臣に復任せられたりと云ふ

●**伊國使館昇格** 伊國政府の交涉に依り我か政府も同國に大使館を設置するに內定し都筑馨六氏駐伊大使たるへしと

●**陸相の留任** 後繼內閣組織に就き寺內陸相だけは西園寺侯の切なる希望を容れ留任する事に內定せる由

●**駐日露公使任命** 伯林よりの報道に依れは從來ブルガリヤ駐劄露國公使たりしバクメチエフ氏は東京駐劄露國公使に任せられたりと

●**青木駐米大使** 華盛頓よりの電報に依れは日本政府は青木周藏子を米國駐劄全權大使に任命したる旨通牒し來り國務卿ルート氏之を承認せりと

●**小村大使と日淸協同**

(一月三日 北京特別通信員)

日淸兩國の東洋に於ける漢學者の所謂脣齒輔車の勢に居る者彼此利害關繫の密接なるは吾人の說明を待たさる所にして日淸兩國人の知らすの裡に感得せる一箇の暗示なり此の度日淸談判將に開かんとして淸國多年の親友たる小村大使の渡淸するや淸國大官の識者は皆此の天假の機を利用して益日淸の親密を計らんとし小村大使も夙に覺悟する所ありたり是に於て大使の來たるや病後積衰の身を以て猶樽爼の間に折衝し心身の疲勞盛なるに拘らす病軀を勉めて應酬を事とし內田公使亦大使を助けて能く其間に周旋し樽爼折衝以外別に活動の新天地を作り淸國王公大臣と杯盤の間に追逐し獻酬談笑の間に日淸の睦誼を聯ね以て淸國人心をして我國に傾注せしめし者決して淺きに非さるなり試に其例を擧れは小村大使の大學堂を參觀するや奕慶張百熙等の管學大臣は頗る是を榮とし午餐の席上に於て大使に向ひ將來淸國教育上に於ける示敎を請へるに非すや要之今日淸國漸く覺醒し來たり漸く日本に信頼せんとする機運に投して大使か其熱誠にして毫も利已的ならさる淸國開發主義は應酬談笑の間に於て大に支那大官の腦裡に深き印象を與へたるは疑ふへからさる事實なり若し夫れ將來日淸兩國にして相依り相助けて東亞の和局を維持せさるへからすとせは吾人は日淸談判以外此の點に於て大に大使の功勢を承認せさるへからさるなり

●**野津大將歡送迎**

明治十年戰役に於ては驍勇大佐として薩兵を怖れしめ明治二十七八年戰役に於ては勇猛なる第一軍司令官として淸國を震懾せしめ而して這次の大戰役に於ては第四軍司令官として滿洲軍の中堅と爲りて露軍を惱ましたる陸軍大將勳一等功二級伯爵野津道貫氏は一昨五日を以て凱旋の途に就かれたり大將凱旋の報一たび傳はるや我營口在住民は此武勇絕倫なる將軍を送迎せんと午前十一時二十分牛家屯發の滊車に乘込み大石橋に向ふ一行約八十名重なる人々は瀨川領事堀越憲兵長鈴木軍醫長崎正田太田加藤遠藤森黑澤蠟山等の諸氏愛國婦人會よりは瀨川夫人長崎夫人井上夫人等營口公議會よりは藩玉田氏始め十數名にして孰れも喜色滿面たり軈て汽車は正午過ぐること十分大石橋に着したるに軍司令官の爲め到りたる一行は單に歡迎のみを爲さゞる可らさりき一行は勿忙降車して給養所に到り岡島兵站司令官の好意に依り晝飯の馳走に預りぬ一行は早や到着して晝飯中にてありき折角歡迎の爲め到りたる一行は單に歡送のみを爲さゞる可らさりき汽車中立ちづくめの空腹なれは威儀を繕ふ紳縉も料理に細君を困らする紳商も我れ勝に茶碗を取り上け中には五六碗を平げたる人も見受けぬ腹は滿されたり血色は直れりいざや凱旋將軍を見舞はんと一同は瀨川領事の先導にて將校給養所に到る領事先づ入り一同は戸前に控ゆ正面に直立したる老將あり色褪せたる赤帽を戴き身には黑紋繻子毛裏の支那風外套を纏ひ足に太さ支那靴を穿ち溫和なること恰も是れ高砂の尉翁に似たり嗚呼之れなん我が宿將野司令官にあらすや將軍や一見溫和なる老翁の如くその笑むや兒童も膝に上るへく三軍の士も親近すへきなり然も一たび赫として目を怒らすや鬼神も怖れ三軍鳴を靜めて屛息すその第四軍司令官として大孤山に上陸するや鳳凰突進一擧析木城を破り進んで遼陽に迫り爾來沙河の會戰奉天の大會戰に方り常に滿洲軍の中堅と爲り勇猛なる敵の壓迫に耐へその攻勢に轉するや猪突驀進眼中峻岳なく大河なく猛擊敵を殲滅せずんば已まさりき我等は今親しく大將に接しその溫和なる態度を仰ぎ恰も春風に打たるゝ心地せり大將は領事の紹介に依り先つ愛國婦人會員遠來の勞を謝し種々浮世話しを爲して頗る滿足せられたるものゝ如し次て邦人は交る〴〵名刺を呈し領事一々之を紹介せられ大將は丁寧に感謝の意を表せらる公議會々長潘玉田氏は日本語を以て凱旋の祝辭を述へ會員一同敬禮を表したるに大將は頗る感激せるものゝ如く特に二三步進んで答禮を爲し領事より公議會の組織會員の資格等を聞かれ一々首肯して滿悅を表せられたり大將の左右に起立せられたる第四軍砲兵部長楠瀨少將及軍醫部長藤田軍醫監も進んで愛國婦人會員及居留邦人公議會員等に對して感謝の辭を述べらる憾くて時は進んで一時五分の出發時刻となりぬ茲に於て大將一行は將校給養所を出でプラツトホームに到らんとするや瀨川領事の音頭にて野津大將萬歲は雷の如く三唱せられたり大將一行步を轉して擧手の答禮を爲し微笑しつゝ汽車內に入り尙は車窓に凭つて一同に對せらる汽笛一聲凱旋列車は動き出しぬプラツトホームに整列したる一同は帽を振り手を擧け萬歲々々を高唱す車中の將軍等は喜色滿面感謝の意を表し將校等は起立して滿悅の情を示せり歡送者一同は野津大將一行の表はせる滿足を以て滿足し又も汽車中の立ん坊と爲つて歸營の途に就き牛家屯に着したるは午後一時四十五分なりき因に當日大石橋に於て本社は例の如く新聞紙數百葉を大將一行に配布して歡送迎の意を表せり

●**北進者へ注意** 北部各地の開放以來旅順大連より先を爭ふて視察轉住を企つるもの多く皆一攫千金を目的とさるも、如し而して其內には婦人連中も亦少なからす每日の公乘列車にて北進するもの十人乃至二三十人の團体あるを見る然るに婦人は滿洲內部の事情に通せさるのみならす寒氣の嚴烈なるに心付かす旅順大連の氣候と一般ならんとの考にて多くは薄衣のまゝ乘車するか爲め車中往々寒冷に堪へすして泣き出し或は病を發し或は同乘の支那人等に向つて憐を乞ふなど實に見苦しき躰裁を演するもの少なしとせす是れ等は本人の不注意より出つるものとは云へ又之を勸誘し携帶し來る男子の不注意も亦甚しと云ふへし此に特に注意を要すへきは目下軍隊の還送中特に列車の一部を割愛せられたるものなれは車中暖爐其他防寒の準備なきを以て今後北進せんとするものは何人に限らす須く充分の防寒具及飲食物を準備して乘車するを要すと當局者は語れり

●**川村大將の來營** 鴨綠江軍司令官川村大將には明日を以て當地に來らるゝ由なるが在留民は何か趣向を凝らして此勇武絕倫なる大將を迎へずして可ならんや

●**昨今の旅行者** 營口の旅行者中昨今最も多きは第一に奉天行にして次に大連行なりと而して一日の旅行者總數は大約七八十名なりと云ふ

●**昨今の移轉者** 遼陽、奉天、或は鐵嶺に居住を欲する者は舊臘中に概ね其目的を遂けたる者の如く新年に入りては各地に對する居住營業の出願件數甚だ減少し日々僅に數件なりと云ふ

●**招魂祭** 牛家屯に於ては來る十二日を以て靈將ミスチエンコの逆襲に勇戰激鬪して擊退の偉効を奏したる名譽の戰死者の爲に招魂祭を擧行して其の英魂を慰すと云ふ式順併に詳細の模樣は追て報道すへし

●**軍旗祭** 第六十三聯隊に於ては明八日牛家屯に軍旗祭を擧行する由なり

●**昨今の屠畜數** 昨年中の屠畜數は別項表示の通りなるか昨今市內の屠畜總數は甚だ多數にてなるか爲にして軍政署に於ては現に昨日より各屠畜營業主に對し無料撿査を施しつゝあり

●**滬友會の新年宴會** 日淸貿易研究所及東亞同文書院出身者の團体たる同會は去る四日平野町山金に於て新年宴會を開けるか參會者は片山松倉飯塚小泉佐々江後藤瀨浪大野安部會田上野及帶營中の山根三澤西田の諸豪にして快談放論山金の老夫姉も腰を抜さん斗りの盛會にて三更に至りて漸く散會せりと云ふ

●**二本町の盛會** 豫報の如く二本町居住有志者新年宴會は一昨五日午後六時より祇園閣に於て開催せり出席者は二十有餘名にして各自席定まるや松永氏開會の挨拶をなし夫れより酒宴に移り紅裙數名酒間に侍り宴酣の頃山田千秋氏及ひ外に某氏の演說あり次に高坂氏は本社一月元旦の大島總督閣下の筆蹟不如人和は大に吾人の訓戒なりとて數十言を費し益々一致團結を鞏固にすへき旨を述へ各々拍手喝采の下に演說を終り快談壯語實に近來の盛會にして散會せしは十一時過なりしと云ふ

●**夜間音曲に就て** 豫て其筋より夜間十二時以後の音曲は嚴禁の達しあるにも係らす近頃各料理店に於ては違反者甚だ多く中には一時過ぎ迄も三味太皷にて大騷ぎをなし居る由にて此後右樣の違反者ある時はビシ〳〵嚴重なる處罰をなすと云ふ營業停止又は禁止を受けざる樣充分注意すへき事なり

●**藝妓の大輸入** 當地各料理店は新年を宛込み內地へ女將又は帳場を派し我れ劣らじと美形の買集めに勉めし爲內地の花柳界に大影響を及ぼし自然相場も昂騰し一名千余圓も投したる上玉もある由目下美形の到着せし料理店を揚ぐれば第三、金城、祇園、日本、高砂、彌生、醉花其他大小料理店を通して百餘名の大輸入をなせりと三面子は粹客の參考として明日の紙上より新妓の品定めとして妓藝及び容貌の點數を附して見よふ

汽車發着時刻

▲上行車時刻表

車站名	開車 午點分	到着 午點分
新民屯至溝幇子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開車 午點分	到着 午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間 下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發 午前	九、〇〇

驛名	着	發
遼陽	着午後 三、五〇	發 四、五五
大石橋	着 一〇、三二	發 一一、三五
金州	着翌前 二、二〇	發 三、一〇
大連	着 五、三二	

上り列車

驛名	發着時刻
旅順	發午後 一二、〇三
大連	着 五、三二

營口線 下り列車

驛名	發着時刻
大石橋	發午前 一、〇〇

天氣

營口地方 自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

●新聞讀者十戒

幾多の指導啓發が敎育的勢力なりとせは新聞紙の讀者の如きは雜種の材料に依り實に無比の恩惠に俗するものなり一國をも尙且つ左右し得ると云ふ新聞紙の讀者たるもの亦愼重なる態度なかるへからすとて歐洲の某新聞記者は左の十戒を示せり

第一　風癲白痴に非さる限りは必す新聞紙を購讀すへし而して万一其社論過激なるも喪心する勿れ之れ其表面を飾りて醜事を働くものに優れはなり

第二　毎朝新聞紙を精讀せよ只其標題のみを讀みて一切の注意を拂はさるものは實に新聞記者を侮辱するものなり

第三　新聞を以て單に汝の爲に存するものと誤解する勿れ新聞紙は公衆的のものなり公衆の前に個人なり何も個人的觀察するの權利なし

第四　愛讀する新紙の共有者たれ苟も公衆の便となり且つ讀者の注意を引くへき事項あらは遠慮なく投書せよ然れとも記事の取捨は素より記者の權內に在れは沒書さるゝとも怨言を放つへからす

第五　公人として改良を要すへきの事項ありと認めたる時は記者に注意せよ然れとも勸善懲惡は新聞の任務たるは忘る勿れ

第六　勢ある正義の士は誠實なる批評を歡迎するものなれは決して勢力家を恐るゝに足らす

第七　如何なる場合と雖も新聞紙の管理者を信せよ

第八　新聞の辨護者たれ而して到る處に其美點を擧けて賞讃せよ

第九　記者の論說に留意せよ

第十　配達か遲れたりとて驚いて購讀を中止する勿れ、實際新聞社は其責任なし之れ每日定刻に印刷に附せはなり而して記者は新聞販賣に就ては諸君の想像意外に冷淡なるものなれはなり

●怠惰校試撿問題答案

自誤意裙質蕩　花葉田氣樂

▲工科

（一）焚殿建築法はシワン棒を慾梁とし逆捻を用ゐ豆腐にカスガイ糠に釘等を念入に打ち道樂息子の枝柱とも爲さば家根のもるてと保險付也

（二）二階から目藥は旣設の營口電燈會社の銅線を中心を去り用ゐ壁に耳は洩れ易きにより口傳とすべし牡丹餠載せる棚は運を松の木にて借金のからくりを爲すべし

我樂多道具は

据膳　かゝらぬ箸　破れ鍋　とぢ蓋　始終空簞笥　かんからかんの鑵　素寒壜　欠德利　盆異產　味噌摺鉢　親父のランプ　諏訪の針箱　長家の金棒　山師の大風呂敷　酔ばらいのドロン劍　買物に履セタ下駄

（三）龜の子の尻尾を振らざるは藝者の首を堅に振るが爲なり招き猫の足を揚げざるは仲居の遼陽や奉天へスツポ拔せぬ秘密の法也

▲歷史科

（一）平家の蟹は戰爭に敗れて降參するときは堪忍ミミミと云ふ敗軍の兵堪忍を夥く云ひしによりカニミと聞誤りたり

（二）彌治良兵衛外一人の旅籠は彼等金谷の宿を通りたる故也

▲天文學

（一）御月樣の若さは月にして年に關係無き故なり然れども御月樣の生れたるときは一年一つ宛年を取りたるも生後二十年法律を以て之を廢止したるが爲也

（二）肩で切る風は學問上之を聞た風と云ふ此風起らば闇雲り知たか降りとなる此風は上より下に强く借金鳥の飛揚するときは起るべき前兆と知るべし若上より落雷せば消て跡なし彼等は日は暮せども內に陰氣あり外に陽を示す爲めに空ら平を云へば云ふ程辛きものと我之を聞けり

（三）雨降て地固るは今は氷るが爲めなり夏季は道路もクシャ〳〵す働くものに陰日向なきは一に傍樂と書く一人奔走精勵すれば傍人即ち樂也働くものは奔走もする故日向に多しお太陽樣と米の飯は大陽は東より日本米も東より人間も東より同と軌道なればこそ付て廻るなり此頃營口には逆行するも弗々ありと聞く

▲地理科

（一）噓の川は水なき川也大風呂敷山より出で虛原を過ぎ長さ八百八里出鱈目海に入る大風呂敷山に注ぐものを山師と云ふ法螺貝は此川にて漁すると聞く

儘の川は勸世山より發し燒原を中貫し出放臺を廻り乘家反家の二村を過ぎ末はドウナルカ不知面の川は冬季結氷す其厚サ何十丈のものあり實は多く水なし源は歐羅巴のヅウヅウシーのシャーシャー瀧に起り其流域長からず世間シヨウガネーヤロウト號す御用達其沿岸に住す化の川は臺僞子意淫等の山間の水を集め龍頭山蛇尾寺の邊を過ぎ末は伏流にして影も形もなし

（二）地獄迄の測量せしは末の英吉利國領印度國セーロン島アミダ氏助手ジゾウ氏也アミダ氏は手にせる百〇八個の玉にて算しジゾウ氏はステツキにて量る故に之を珠數と云ひ尺丈と云

（三）寢ん寢の守の越たる山は夢山と云里は寢覺の里

▲算術科

（一）答七億婆々

（二）答三千世界

（三）答千萬申譯なしとなる

▲藥劑科

（一）比間油を以て製すヨンリン丹と號す御茶挽州のチーサン氏の發明にして親より意見杯のときは最も効あり爪にて撥けば大目玉の目ツブシとなる藥九層倍は營口にあれど口に苦き良藥はなし

（二）不老不死の藥はダイシャ一本度を細末にし酒を以て溶解し朝から晩迄服用すべし宿醉は最良

（三）股倉膏藥の効能は最も妙此藥は筒井氏の發明にして政黨員の演舌前等には最も多く用ゆ之も少量を用ゆれば稍効あるも却て双方の害あり

營口の紳士連の愛顧を受けつゝあり

▲敎育科

（一）夕日に師の影を踏まざる用意は師の西方に位置を取るべし

（二）鳩に三枝の禮を敎えしは隣の八兵衛也故に鳩ヘト云ふ鳥は稱蒔樓兵衛なれども其原籍を明にせず

（三）お地藏樣の敎育法は無言の術也講義筆記錄なし卒業者は三萬三千三百三十三名にして其木像は京の三十三間堂にあり

▲植物科

（一）金の生る木は日本の地帶には適せざるものゝ如し然れども多少はありヒキと云ふ莨草多し培養法は種々あれども耶蘇信徒の家にのみ生育するものもあり

（二）借金取に緣切榎を呑ましむるには甚だ困難なり無理に呑ましむれば嘔吐を催す故に後ろ向になり尻をまくればよし若し猶行はれざるときは平手で横面を荒くさするべし

（三）枯木に花を咲すは前代議士と名告るべし但此花は實は結ばぬ也

木に竹を接ぐは惡妻の如しゴールにて接ぐべしゴールの分子脫落せば忽ち離る用意すべし

勅題新年河　牛次郎

今年より唐土かけしありなれの
みづすめらかに大日照りそふ

迎關東州之新年　牛骨

家毎に德化の民や初日影

新年十句　米雨

村十戸今日七草の粥烟
七草や十歲を頭に七人子
福曳や隣の下女の大當り
歌かるた相見てよりの心かな
歌かるた嬉しき人の爪の跡
宿醉を屠蘇に迎ふる李白かな
子寶を並へて玆に雜煮かな
万歲や生れながらのおどけ顏
屠蘇客に上氣せ給ひそ嫁か君
滿洲の氷初日に耀きぬ

初鳥六句　稻波

鳴かで來て庭を歩くや初鳥
はつ鳥井桁の雪を踏で鳴く　同
初鳥群れ來て松に噪ぐなり　同
はつからす曙光に翼つくろひぬ　禾乃
江を西に鳴き渡るなりはつからす　同
はつ鳥惜くまれもの丶初めかな　同

空樽　おから

營口の空樽買をそろ〳〵と始め申候御高鑑に供へ申候尚醬油の空樽石油のカラカン、ビールのあきびん、ホヤ、ランプのこわれ等も、おひ〳〵買集め可申候

大きくなり。
正金の、金庫軍票で。
三チン(井)の、一チン(井)はねて、うへのけた。
にほんさし。ゝわじのめざし。おくびだす。
こづつみは。さむくて、くさみ。かぜをひき。
まきあげて。またすいしぼる。忠兵衛さん。

廣告

特別室落成披露
金城ホテル旅館部
藝妓仲居新來披露
特に藝妓は生粹の江戸つ子
金城館料理部

御旅館兼待合所
並にうどん、そば
今般大々的勉强を以て右營業仕候間御乘降の都度御休泊被下度奉希候
牛家屯停車場前　若松家

各位樣
新玉の御慶芽出度申納候
高砂ホテル
營口　高砂
此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ参り候間御光來の上御評判の程願上候　草々

今般秋吉萬作義都合有之解雇致し松田萬吉夫妻をして業務に從事せしめ淸潔を旨とし萬事一層注意相加可申候間倍舊御愛顧程奉希候
永世街二八（電話一四六）
三十九年一月　鶴の湯主人敬白

大連　東洋ホテル　大連鐵道停車場附
大連　東洋ホテル　近民政署前通り兒玉町に在り
大連　東洋ホテル　四階建にして而も高地に建設しあるを以て大連港灣の山水及大連市街の光景は一望の下にあり
大連　東洋ホテル　和洋客室の設備あり內外貴賓の宿泊に適す

會席　御料理（いろいろ）
天津日本租界　敷島
新電話百八十六番

旅行中に付年始の禮を欠く
營口高濱洋行　手塚健次郎

營口永世街　營口印字局

奉天日本旅館　瀋陽館
家屋宏壯淸潔　接待優遇懇切
開放全時＝開業　奉天小西門外大街路北

寫眞　奉天府　大南門裡路西　永清

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）

營口第壹　慶樂温泉
淸水滾々湧出
永世街一力南側

東營口郵便局東隣　島田洋服店
新民屯停車場前　同支店

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）
即席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町　日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町　日本館支店
各位樣

北京　扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室清潔料理鮮新

御旅館　天津　芙蓉館
駐屯軍御用　並西洋料理
（電話四十一番）

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

銘酒 白鶴

新荷着大安賣
新年儀式用品

雜貨商
營口元神廟街 井門洋行
遼陽西門外 同支店

御菓子製造

○蓬萊豆○青梅○輕燒豆○栗納豆○大緑○松風煎餅○羊羹○朝鮮飴○生干菓子種々

營口永世街乙第二十八號
仁木商店

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

あさだあめ
浅田飴

特約大販賣 營口永世街 東瀛大藥房

肺癆痰喘氣急傷風痰瘀小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかせ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

標子
發賣木飯
料木

營口青堆子
清水寧木局

雜貨卸商
在元神廟營口街
關東公司雜貨部

澤亀と醇良にして風味芳富

並ニ
札幌ビール
朝日ビール
政府專賣口付紙卷煙
朝日 大和
酢 醬油 瓶詰樽詰
菓子 罐詰 色々
洋酒類 取次販賣

釀造發賣元
宅合名會社
本店 大阪府堺市九間町
小樽支店 北海道小樽港町
臺北支店 臺灣臺北街書院
基隆支店 臺灣基隆街石牌
臺南支店 臺灣臺南街下南河
函館出張店 北海道函館區辨天町
遼陽出張店 清國遼陽城內西街
大連出張店 清國大連監部
營口支店 清國牛莊港東營口

恭賀新年

福

大連揚汽車便最新着
●清酒白鶴
●北海道產玉葱
其他雜貨色々

元神廟街
(福) 田中洋行

御旅館

奉天 小西邊門內路北
茂林館

追テ滿洲各產物毛皮類ノ求ニ應ズ

家屋宏壯接待優遇

謹賀新年

博文館營口代理店
書籍、銘茶
賣藥、雜貨
商 大阪屋

今般永世街通平野町筋へ轉居し一層安價に販賣致候間舊に倍し御用命の程奉願上候

日用品雜貨
軍隊用雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
其外種々新荷着精々安價販賣

御小賣
石原商店
營口永世街百七十三號第二市場東側

官製口付莨、文房具
和洋酒類
罐詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
卸商

營口西北街
(十) 豐生洋行
(電話十三番)

優等清酒

諸罐詰
雜貨類
菓子類
卸賣

三成組

御待用品
新荷着急告

○食料罐詰○
○鹽魚干魚鰹節○
○乾物色々○
○龜甲万印醬油○
○赤白味噌○
○菓子類数種○
○銘茶各種○

林屋洋行
營口永世街警務課前南へ入

滿洲
大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前
池上出張店

雜貨
醬油 味噌 清酒

營口西北街
阪神組

…刻

區間	上	下
塘沽至北京	上六、〇…	下一二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、〇〇	下六、四五
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝帮子至新民府	上三、〇〇	下六、五七

遼陽　若午後　六、二三　發　七、二〇
奉天　上り列車　若午後　一二、〇六
天鄕　午前　一一、〇〇

驛名	發著	時刻
大連	發午前	七、三〇
旅順	若	一〇、四九
營口	發午後	一〇、二五
大石橋	着翌前	一二、一〇

報

昨日の氣溫　最高溫度三十二度五　最低溫度五度九

宮門抄

初六日

兵部　太僕寺　廂白旗值日商部引　見三名　兵部引見四十八名　都察院引見一名　鑲紅滿引見十名　正藍旗蒙古引見一名　內務府引見十四名　陳曾佑　張學華　萬理清預備　召見

召見軍機　陳曾佑　張學華　萬理清

皇上明日卯正二刻至

中正殿拈香

初七日

刑部　都察院　大理寺　鑲紅旗值日無引　見　敏公請假十日

志公續假十日　崧蕃遞遺摺

召見軍機

上諭恭錄

初七日奉

上諭閩浙總督崧蕃才識通敏練達老成由部曹簡放道員薦陟封圻歷任雲貴陝甘總督於邊防吏治辦理諸臻妥善本年調任閩浙諭令來京陛見疊因患病賞假調理方冀醫治就痊長資倚畀遽聞溘逝軫惜殊深崧蕃著加恩追贈太子少保銜照總督例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊嗣子外務部主事豫敬著以本部員外郎即補用示篤念藎臣至意欽此

奏議

吉林將軍達奏請將伯都訥廳升改爲府並添設知縣片

再事須因地以制宜法無歷久而不變實邊之要固以開設郡縣爲先而舊治之區今昔情形迥異有不得不酌量改增以冀變通盡利治臻上理如伯都訥廳同知一缺者查該廳早年本係理事同知駐紮於伯都訥與副都統同城設分防巡檢於孤榆樹附廳亦設巡檢一缺專司監獄光緒八年前任將軍銘安以荒地日闢民戶衆多將該廳改爲撫民同知兼理事銜旗民兼理移駐於孤榆樹而以司獄巡檢改作分防以孤榆樹分防巡檢改兼司獄當時創改各有深意迄今相距二十餘年地日益闢民日益聚加以訥城界連蒙古勢徠安撫政務倍極殷繁而自東清鐵路修建以後該廳之城子山石頭城子陶賴昭等處又均附近軌道設有車站交涉之事更形繁重非改設一職分較崇之員不足以資因應而重地方奴才督同吉林分巡道方朗悉心籌議擬將伯都訥撫民同知升改爲府設知府一員仍移回伯都訥城名曰新城府因伯都訥即名新城故也不設附郭首縣凡屬旗民命盜詞訟課賦錢糧均歸自理升分防巡檢爲府經歷兼司獄事原設訓導改升教授其孤榆樹距城四百數十里深恐鞭長莫及兼顧難周應於榆城添設知縣一員名曰榆樹縣兼理事銜其原有巡檢兼司獄事則仍其舊教職暫可不設令由府教授兼攝該縣應隸於新城府與府劃疆而治仍統屬於吉林分巡道應如何分定界址富飭道委員查明另行奏咨立案其該府縣缺分應作爲繁疲難沿邊奏補要缺俱准隨調兼行遇有缺出由吉林道酌量詳請具奏如無合例之員准以候補及揀發奏留各員內不論滿漢揀員請補照例定爲三年俸滿著有成效由將軍出具切實考語保荐以應升之缺升用府經歷巡檢管理監獄兼司捕務均作爲要缺准以本省候補人員內酌量請補三年俸滿應准保升新城府廉俸工食辦公銀兩應照奉天昌圖府例支給其榆樹縣並府教授經歷巡檢各缺廉俸辦公役食則照本省前設各缺章程支領均由斗稅項下開支至與府同城之副都統及協佐防校等官應照通省設官成案祇准管理旗務緝捕盜賊不准干預地方詞訟原有山海土稅應仍由副都統派員抽收所有旗民新舊錢糧大小租賦牲畜田房各項雜稅則悉歸府縣經徵每年向由廳署應撥旗署俸餉應令府縣照舊分別撥解以符定制奴才本不敢更張官制實有見於地方情形今昔不同非此斟酌損益不足以講求吏治而奠民生合無仰懇　天恩俯准速飭政務處吏部核議覆奏如蒙　俞允當於奉准部文後即行遴員前往試署並請　旨飭部鑄造印信以昭信守其餘如甯古塔屬之蜂密山吉林府南之蒙江等處前經委員招墾現已成效漸彰亦亟須添設民官容俟詳核妥議續行陳　奏是否有當謹附片陳明伏乞　聖鑒謹　奏奉　硃批覽欽此

中外要聞

●川邊不靖　川督電陳巴塘邊匪復有死灰再然之勢當即派委提督馬維騏前往分路勦捕該匪幸未集成大股立即撲滅現雖安謐然常恐老巢尚有餘孽即令該提督就彼鎭懾一面傳諭紳士居民整頓團練俟有成效再將官軍撤回等語

●俄公使之意見　日前外部堂憲與璞公使會晤談及中俄議約之事璞使謂此事兩國關係甚大必先期自相叅酌妥協再行定期開議況中俄兩國大臣彼此和平相會不可斷斷爭論致貽他國口實遂令彼坐觀成敗竟得兩國之利云云外部堂官甚然其說

●擬建迎賓館　日昨　兩宮商於軍機大臣擬在南海適中之地仿照洋式添建迎賓館一處以備各國　覲見時暫作休息筵宴之所而示特別優待之意聞此工程欵項應在內務府妥籌明春即可開工矣

●秘密手段　慶親王密奏中日約章除電知奉省將軍之外諭知外部大臣一概不准宣洩於外以後中國與某國定約惟兩國遵約辦理亦不外洩恐他國有聞別生枝節等語　兩宮甚以爲然昨已諭知外部矣

●學部擬頒章程　學部尙書榮大軍機擬訂仕學速成章程並商之於刑部伍侍郎速將法律學堂章程送部以便刊刻頒發各省遵辦

●預備與俄開議事件　政府王大臣日前調查三邊各大臣及駐俄胡大臣所來電奏凡俄人舉動有礙中國主權之件均開錄年月另爲一冊聞此冊俟呈　御覽後即與各大臣詳細議訂中俄條欵以便明年與俄開議

●催造礦務表　商部咨催鄂督張香帥開辦湖北礦產已誌各報昨聞商部二次電催該省礦表務當速即趕造咨送商部立等查核

●預安民敎　政府王大臣近日接到咨文咨稱各省教案屢見迭出核其起數繁倍於昔因地方官不善調停遂至釀成交涉議擬電飭各督撫大員飭所屬認眞勸導遇有訟案訊斷持平總期民敎相安聯絡如一另定章程各處頒發並希即該處立案

●樞臣乞休之消息　昨聞內廷傳云　皇太后召見鹿傳霖大軍機時面詢云內外臣工國家總以優待諸臣何以有叅軍機處樞臣之摺現在　朝廷時艱各大臣務當激發天良辦事公正以免外人嘖有煩言聞鹿大軍機於明春定有告休之意云

●中法交涉　聞有法人前欲在廣西設立民政廳當經外部及岑督已力阻在案現在該省又有電致政府該國雖未設民政廳而我已自設諸事由我自裁判乃時有干涉地方等情請飭外務部速向法公使提議云云

●裁撤旗營之議　徐尙書世昌呈遞裁撤旗營四校一摺已交政務王大臣議奏現已議定不日即見明文按四校即所謂護軍前鋒驍騎步軍也

●停鑄當十大錢　工部寶源局鑄錢爐二十五盤因當十大錢停止鼓鑄其爐頭丁役經費亦應裁除聞已將該局爐盤爐頭丁役等普通裁撤矣

●擬改派議俄約人員　外部人云中俄開議在邇本部堂憲原擬塔克什訥薩蔭圖爲中俄譯員茲以塔薩二公與璞公使相交甚秘因而又有改派之議云

雜報

●太守興學　昨由錦府來人云該府太守談鐵隍君自莅任以來舉行新政不遺餘力而於興學一途尤爲注意刻下設立中學堂一處妥定章程力籌經費在講堂內撰有一聯云事豈偶然儘數十日熱念經營於學界幸留影響我將去矣願二三子同心組織爲此邦大啓文明勸學熱誠溢於言表宜學界中人同聲贊頌於不置也

●馬賊綁票　昨由北來人云前日聞往寬城子路上有載車三十餘輛蓦地突來賊羣截阻奈貨不値錢賊不屑劫乃將隨車商客綁去六名爲質票脅繳銀圓參萬元方准取贖越三日不贖弁扯其票扯票者即殺害爲質之人耳聞該客屬等報官不敢備贖不能輾轉躊躇無可爲計其究竟如何容訪再登

●白話告示照登　署承德縣正堂孟署興仁縣正堂崇爲傳諭事照得清理地面必先驅除盜賊現在城鄉內外分紮許多兵隊又有警察局站崗的巡兵所爲保護你們商民可是街道甚多兵力恐不能處處都到這可要你們大家自相保衛了目下冬防要緊近來又出了好幾處搶案本縣身任地方不得不爲你們先出一個救急辦法爲此論仰商民各色人等一體知悉第一每街公舉街長每十家公舉十長街長管理一街的事十長管理十家的事第二無論那個人家有面生可疑的人有不像樣的匪人出入就要問明他的來歷有窩賊的立即密告警察局及地方衙門拿辦如果問實了罪名就將密告的人重賞倘若知情不舉一經發覺定與窩賊的連坐治罪第三每到下晚各家出一個人守夜要是那家有賊約定或敲銅器或敲木梆爲號大家齊出捉拏警察隊聽見響聲也好在四外兜擊如一家有賊敲響器四隣人家不出來會拏必要大家罰他如不服稟送官究辦須知一家出一個人是普通辦法上自將軍衙門下至窮家小戶無論官商軍民但有一家即出一人大衆想想看官項都要派出一人來這是極公平的法子這就是古人守望相助的意思本縣爲的是保護你們先出這個救急的辦法已經稟過將軍都統各憲吩咐照辦以後尙有清查保甲詳細章程等印出來再分送給你們照樣辦理你們同心合會互相保衛身家千萬不可虛應故事特諭

●馬賊手辣　昨由北來人云旬前某驛行聯夫保送貨車拾輛北上經朝陽坡遇馬賊十數騎貨無可刦即索其轅馬奈車主固執哀求致忤賊怒一槍斃之騾夫見而氣憤與爭又被賊槍斃之該僕見車主屍不禁撫慟賊又怒槍斃之連斃三命遂將轅馬卸去云

NEWCHWANG, SUNDAY, JAN. 7, 1906.

The second in the series of musical services was given at the Assembly Hall last Wednesday evening, beginning at 6. Rev. Mr. Webster delivered an impressive homily on "Sermon on the Mount." The sublime scene on the Mount was unfolded in vivid hues before the mind's eye of the hushed audience, and by force of eloquence, the Upper and the lower world seemed, for the moment, to have been bridged over, taking the congregation face to face into the holy presence, to harken to the very voice from the clouds. Vocal and musical amateurs of the port, by giving a highly creditable display of their talent, lent a very pleasing charm to the evening. Mr. P. V. Oudin lately from Tientsin figured conspicuously as a valuable addition in the form of a fine tenor. Refined enjoyment seasoning the spiritual food will no double greatly help assimilation with the moral system of even the most sordid mind. It is to be hoped that the coming numbers of the series will follow in close succession, especially during the dreary winter.

Mr. C. G. Bush on the Winter Amusements Committee is certainly outspoken when he has openly deprecated the insufficiency in number of dancing gentlemen at the port. The supply of this defect in Newchwang society will bring a grateful relief to the fair dancers. Mr. Bush, being far from an idle grumbler, has actively set about recruiting new converts enough to form a dancing class. Intending applicants will do well to remember that to-day (the 7th.) is the last day left for enrolling their names.

A meet of hounds will be held to-day at 11 a.m., at the initiation of Mr. R. Stewart. The start is to be made from the vacant lot in front of the Administration residence. As it was extremely mild yesterday, with a slight south wind, we hope that the weather will be as delightful to-day, specifically in encouragement of the outdoor sport in question.

Gen. Kawamura, Commander of the Yalu Army, is reported to give a brief visit to the port to-morrow *en route* to Tokyo. The general, in command of the 10th. Division as lieutenant-general, landed at Takushan in May '04, and, with his promotion to a full general after the fall of Liaoyang, has assumed command of the Yalu Army.

Mr. J. Cook will wield his first hammer of the year next Wednesday (the 10th.) at the premises of a Chinese firm Tien Sang Cheng (天生成) near the West Temple. Large quantities of woollen goods, tin and iron wares, cutlery and crockery will be offered for auction, opening at 11 a.m. Prices may be named by the tael, the payment to be accepted either in sycee or in local currency at the day's rates of exchange.

We learn that, at the private debate to be held at Rev. Mr. Sprent's next Wednesday evening, Dr. Phillips will preside and Mr. Sammons and Rev. Mr. Webster will lead the opposing sides on the subject: "Do newspapers in general tend to improve or injure the individual, the family, and society at large?"

Mr. Christoph Decker, the popular proprietor of the "Manchuria House," is reported to be back at the port in a week's time from a pleasure tour through Japan.

The Winter Amusements Committee has made an announcement that a Fancy Dress Dance will be held on St. Valentine's Eve (Feb. 13th). Further particulars are to be circulated later on.

Lt.-Col. Yokura who, by the way, returned from Liaoyang last night, intends to have Buddhist services held at the soldiers' grave yard at Niuchiatun on the 12th. inst., the first anniversary of the Russian raid on the army stores by Gen Mischenko.

The Administrations Office will close again on the 8th. (next Monday) in honour of the Japanese Army holiday, on which H. I. J. M. the Emperor holds a grand review of the Imperial Guard and other troops stationed in Tokyo.

EXCHANGE QUOTATIONS—Jan. 6, '05.

JAPAN	Bank T.T. 95 3/8	,, Dem'd 95 1/2	P'ate 15 d/s. 96 3/4		
SHANGHAI	Bank T.T. 67 1/4	,, Dem'd 67 1/2	P'ate 15 d/s. 68 1/2		
TIENTSIN	Bank T.T. 108 1/2	,, Dem'd 108	P'ate 10d/s. 107		
LONDON	Bank T.T. 1/11 3/8	,, De'd 1/11 1/2	Cr. 4 m/s. 2/- 1/8		
AMERICA	Bank T.T. 47	,, Dem'd 47 1/4	Cr, 4 m/s. 48 3/4		

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

旅館 千代田旅館 永世街甲八十七號 店主 高橋きみ

料理 沖の島 永世街十八號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 高砂ホテル 料理 高砂亭 西北街 店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館 名美屋 永世街森病院前 館主 西野末松

南洲旅館 御用達商 濱田新之助 南永世街拾九號

旅館 彌生館 永世街百六十七號

料理 やよひ 永世街百六十七號 店主 宮下只七郎

料理 滿月 平野町百八十二號（電話一六二） 店主 青木勝惠

料理 滿洲樓 西北街二百五十二號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

料理 松迺家 元神廟街 矢野洋行向ひ 店主 山本壽三郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

旅館 大和館 永世街六號

料理 第二大和館 永世街百六十六號 店主 前田九一郎

料理 曙館 永世街平野町 營口座向

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號

料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署 御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

琴 三味線處 幷に張替附屬品一切 永世街八十五號二本町角 土生香樂堂

和洋御料理 第二東京館 元神廟街 店主 松田平四郎

東京一流 かき飯

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝圓

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀨宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

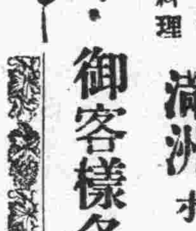
御料理會席 末廣屋 主任 山根初之槌

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村虎吉

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田



弊店義開業以來御華客樣の御愛顧御引立に預り千萬奉謝候偖て今度遼陽に支店を設け旅館會席御料理相營み可申候間本店同樣御贔屓御引立の程偏に御願ひ申上候先は御禮旁ゞ御披露迄早々

和洋料理 松月亭 營口元神廟街第四十三号

旅館和洋料理會席 滿洲ホテル 遼陽城內西街百十七号

御客樣各位

◎フレノロジー 頭腦を觀察して身の上はんだんをなす 營口豐濟門街廿三號 李後氏宅の西半町 利生堂

正札 特別廉價 雜貨 賣出し

一婦人髮道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一鑵詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋 永世街森病院隣 和淸洋行 志田ます

喜久洋行

●白米 ●石炭 ●干魚 ●糯白米 ●木炭 ●鹽魚 ●建築用材木 ●洋釘 ●亞鉛板

營口永世街八十號 喜久洋行（電話百五十二番）

卸小賣致候間御用の節は電話又は端書にて御通知次第直に持參可仕候也

酒保品 諸雜貨 卸商 神崎洋行 營口永世街甲百廿七號警務課前

▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

倉庫業

倉庫位置 郵船會社碼頭ヨリ西二丁余 商船會社碼頭筋向イ 河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸揚ゲ便最適當ナル位置

營口綏芝門街（公和窰）院內 新玉號倉庫部（電話一五七號）

東洋醫院 竹村旅館ノ側ヨリ河岸ニ通スル横町ノ中央角（永世街十八號） 午前宅診午后往診入院隨時 山田長

加藤洋行

酒保諸君へ急告

弊店儀今回酒保品全部相片付け度特別大見切賣致す可く候に付至急御來店の上御相談被下度願上候也

●麒麟正宗
●諸罐詰類
●卷紙、狀袋
●菓子、砂糖

其他諸雜貨一切取揃へ誠實を旨とし精々勉强仕る可く候間多少に拘らす御用命被下度奉願上候

加藤洋行（電話八十番）

菊正宗半樽 殊に 麒麟正宗は精選の上料理店向として輸入したるもの、

砂糖、榕柑、壜鯛、壜鮭、其他 諸鑵詰類

會席用諸道具、重箱、いろ〳〵の 勝手道具

荒物類も澤山參りました、

いろ〳〵 年用のものを取揃へ平素の御ひゐきに酬ひん爲聊かながら景品を添へまして當る十六日より一週間歳暮の賣出しをいたしますからどうか賑々しく御光來の程を願ます

爲替相場（一月六日）

日本向 軍票百圓に付金九十圓
上海は 百圓に付六十七兩四錢五分
[illegible]

日本品最近物價表 加藤洋行調査

菊正宗	三斗九升入	銀二十圓
麒麟正宗	四斗四升入	同十七圓
鮪	四打入	同十三圓
ラッキヨ	五打入	同十四圓五十錢
辛子漬	四打	同九圓五十錢
鷲ミルク	全	同十八圓
寶來菓子類		
豆	百斤入	同二十六圓

MANCHURIA DAILY REPORT. Subscription 4 cts. a copy

本紙定價 一枚ニ付 銀四仙 一ヶ月前金 銀八十仙 半ヶ年前金 四弗八十仙